



解 禁 日 時	ラジオ・テレビ インターネット	令和8年8月3日（月）17:00解禁
	新 聞	令和8年8月4日（火）朝刊から

岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年7月29日（水） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
義務教育課	小中教科教育係	丸山	内線 8603 直通 058-272-8843 FAX 058-278-2817

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について、下記のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

記

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象学年（原則として以下の学年の全児童生徒が対象）

- ・ 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- ・ 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

（1）児童生徒に対する調査

- ・ 教科（小学校：国語、算数 中学校：国語、数学、英語）に関する調査
※ 中学校英語は、文部科学省 CBT システム（MEXCBT）によるオンライン方式で実施（CBT：Computer Based Testing）
- ・ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

（2）学校に対する調査

- ・ 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査

4 調査実施日

- ・ 令和8年4月23日
中学校英語「聞くこと・読むこと・書くこと」は、4月20日～4月23日
中学校英語「話すこと」は4月24日～5月29日のうち1日で実施

5 岐阜県において調査を実施した学校数・児童生徒数（公立学校）

	市町村(組合)立 小・中学校	市町村立 義務教育学校	県立 特別支援学校	計	対象児童生徒数
小学校調査	326	10	2	338校	約14,879人
中学校調査	161	10	3	174校	約15,162人

- 注) 1 義務教育学校については、前期課程を小学校、後期課程を中学校として計上
2 県立特別支援学校については、小学部を小学校、中学部を中学校として計上
3 児童生徒数は調査内容により、参加した人数が異なるため、「約」と表示

Ⅱ 岐阜県における調査結果

1 児童生徒の学力の状況について

(1) 平均正答率（国語、算数・数学）・平均 IRT スコア（英語）

※ 中学校英語は CBT の実施に伴い、IRT（Item Response Theory：項目反応理論）に基づく結果となっているため、平均正答率ではなく平均 IRT スコアで表示

IRT スコアは各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表示

- ・ 小学校では、国語、算数ともに、全国平均を下回っている。
- ・ 中学校では、国語、数学、英語ともに全国平均を上回っている。

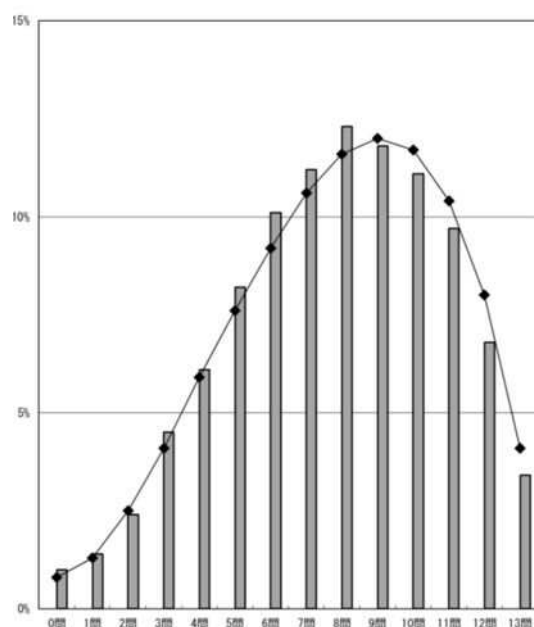
注) 1 岐阜県の平均正答率は、整数値で表示

2 9月以降（秋頃目途）、[英語3技能]（「聞くこと・読むこと・書くこと」）に「話すこと」を加えた県の[英語4技能]を統合した平均 IRT スコアが提供される予定

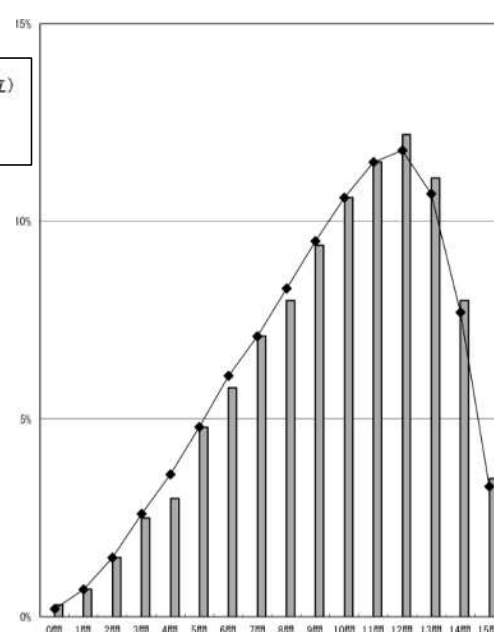
教科		小学校		中学校	
		岐阜県	全国	岐阜県	全国
国語		59	60.9	65	63.9
算数・数学		54	56.4	59	57.0
英語	3技能			507	499
	4技能			※9月以降公表予定	

<正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）>（中学校英語以外）

- ・ 小学校では、国語、算数ともに、おおむね全国と同様の分布状況である。
- ・ 中学校では、国語、数学ともに、おおむね全国と同様の分布状況である。



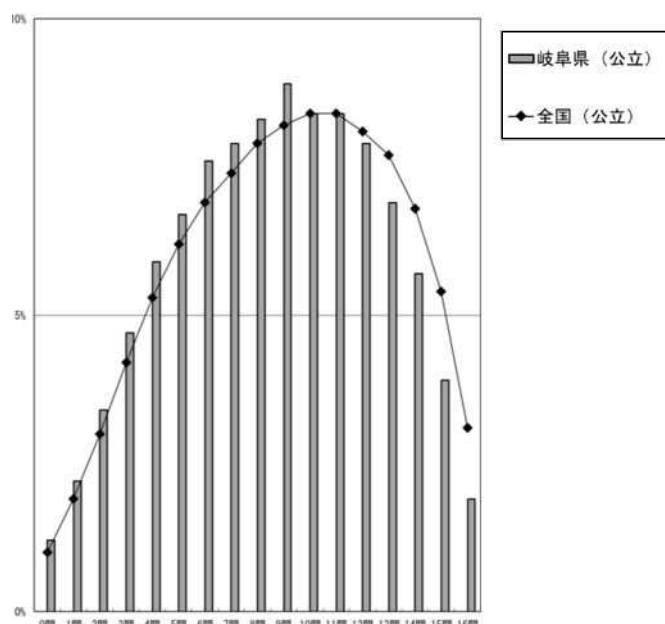
小学校国語



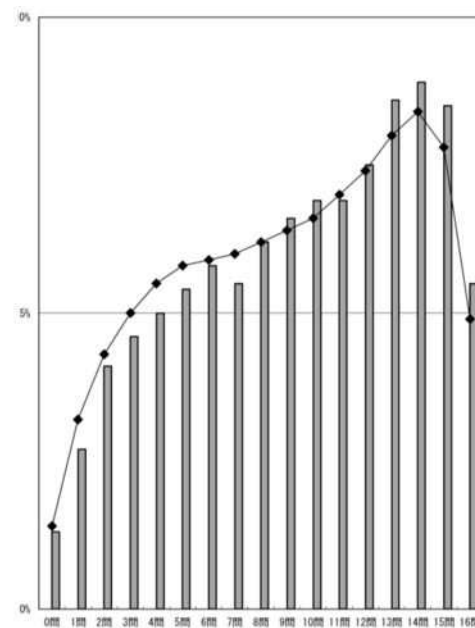
中学校国語

【小学校国語】全国と比較して、上位層が少なく、中位層以下が多い。

【中学校国語】全国と比較して、上位層が多い。



小学校算数



中学校数学

【小学校算数】 全国と比較して、上位層が少なく、中位層以下が多い。

【中学校数学】 全国と比較して、上位層が多く、下位層が少ない。

※【中学校英語】 IRT バンド分布グラフについては、9月以降に公表予定

(2) 平均正答率の推移

※ 各年度の問題の難易度を厳密に調整する設計とはしておらず、年度によって出題内容も異なるため、各教科の正答率について、過年度の結果と単純に比較することは適当ではない。

① 小学校第6学年

【国語】 令和3年度以降、全国平均を下回っている。

【算数】 令和3年度以降、全国平均を下回っている。

教科	R3		R4		R5		R6		R7		R8	
	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国
国語	63	64.7	64	65.6	65	67.2	65	67.7	65	66.8	59	60.9
算数	69	70.2	61	63.2	60	62.5	61	63.4	56	58.0	54	56.4
理科			63	63.3					56	57.1		

② 中学校第3学年

【国語】 令和3年度以降、全国の平均正答率をやや上回る、または同程度で推移している。

【数学】 令和3年度以降、全国の平均正答率を上回る数値で推移している。

【英語】 令和5年度、令和8年度とも、全国の平均正答率、平均IRTスコアを上回っている。

注) 令和7年度の中学校理科、令和8年度の中学校英語は、平均IRTスコアで表示

教科	R 3		R 4		R 5		R 6		R 7		R 8	
	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国	岐阜	全国
国 語	65	64.6	70	69.0	71	69.8	60	58.1	54	54.3	65	63.9
数 学	59	57.2	53	51.4	53	51.0	54	52.5	50	48.3	59	57.0
理 科			52	49.3					526	503		
英 語					48	45.6					507	499
3技能												

2 児童生徒の意識について【児童生徒質問調査から】

(1) 学習状況等

- ・ 課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む学習や、友達と話し合って自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする学習について、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ 授業が自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じている割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。

注) 1 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)

2 下段()は令和7年度の数値

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか。	79.7 (81.7)	77.6 (80.3)	2.1 (1.4)	84.3 (84.1)	78.8 (77.7)	5.5 (6.4)
学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思いますか。	86.6 (85.1)	85.7 (84.9)	0.9 (0.2)	90.0 (87.9)	87.0 (84.7)	3.0 (3.2)
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	75.3 (77.8)	73.4 (77.8)	1.9 (0)	76.9 (76.0)	70.8 (70.6)	6.1 (5.4)
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていましたか。	79.2 (79.7)	78.4 (79.4)	0.8 (0.3)	82.9 (77.1)	79.0 (73.4)	3.9 (3.7)
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。	83.4 (85.0)	80.8 (83.4)	2.6 (1.6)	82.8 (82.4)	78.9 (79.3)	3.9 (3.1)
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	87.3 (87.0)	87.3 (87.4)	0 (▲0.4)	87.4 (87.3)	85.2 (83.8)	2.2 (3.5)
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	92.1 (92.0)	91.4 (92.2)	0.7 (▲0.2)	93.5 (94.5)	90.9 (92.2)	2.6 (2.3)
自分には、よいところがあると思いますか。	86.2 (86.6)	85.6 (86.9)	0.6 (▲0.3)	85.9 (87.6)	84.0 (86.2)	1.9 (1.4)
将来の夢や目標を持っていますか。	80.9 (81.9)	81.8 (83.1)	▲0.9 (▲1.2)	67.3 (68.2)	67.6 (67.5)	▲0.3 (0.7)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	80.4 (81.8)	80.1 (81.3)	0.3 (0.5)	73.9 (78.2)	72.3 (75.3)	1.6 (2.9)

(2) ICT の活用状況

- ・ 授業でPC・タブレットなどのICT機器を「ほぼ毎日」（1日に複数の授業で活用）使用する割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ ICT機器を活用して、情報を収集することができると思っている割合は小・中ともに全国平均より高い。
- ・ ICT機器を活用して、文章を作成したり、プレゼンを作成したりすることができると思っている割合は、小学校では全国平均より低い、中学校では全国平均より高い。

注) 1 下段()は令和7年度の数値

質問事項		小学校			中学校		
		岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
5年生までに(中:1、2年生のときに)受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。	①ほぼ毎日 (1日に複数の授業で活用)	31.7 (32.5)	20.5 (24.5)	11.2 (8.0)	55.2 (51.4)	29.3 (29.5)	25.9 (21.9)
	②ほぼ毎日 (1日に1回くらいの授業)	26.5 (25.4)	22.5 (22.2)	4.0 (3.2)	23.9 (21.7)	25.8 (23.7)	△1.9 (△2.0)
	③週3回以上	22.4 (22.1)	25.8 (25.0)	△3.4 (△2.9)	12.9 (15.2)	23.1 (23.3)	△10.2 (△8.1)

注) 1 「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した児童生徒の割合(%)

2 下段()は令和7年度の数値

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができますか。	77.3 (79.0)	79.1 (81.8)	▲1.8 (▲2.8)	86.1 (86.2)	84.8 (83.6)	1.3 (2.6)
あなたは自分がインターネットを使って情報を収集することができますか。	85.1 (90.0)	84.9 (89.8)	0.2 (0.2)	91.9 (93.5)	90.9 (91.5)	1.0 (2.0)
あなたは自分がPC・タブレットなどのICTを使って情報を整理することができますか。	69.5 (69.1)	69.5 (69.3)	0 (▲0.2)	74.9 (70.9)	69.4 (63.3)	5.5 (7.6)
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーションを作成することができますか。	72.1 (74.4)	74.6 (76.7)	▲2.5 (▲2.3)	81.0 (80.9)	80.0 (76.6)	1.0 (4.3)

3 各学校における取組状況について【学校質問調査から】

(1) 学校運営等に関する状況

- ・ 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思うかについて、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ 全国学力・学習状況調査の結果等を活用し、教育課程の改善を図る PDCA サイクルを確立している学校は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ 全国学力・学習状況調査の結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用する割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ 児童生徒が家庭学習に取り組む際、自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫している学校の割合は、小・中学校ともに全国平均より高い。
- ・ 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組を行う学校の割合は、小・中学校ともに全国平均より高い。

注) 1 「よくしている・そう思う・よく行った」「どちらかといえば、している・どちらかといえば、そう思う・どちらかといえば、行った」と回答した学校の割合(%)

2 下段()は令和7年度の数値

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか。	91.4 (91.6)	88.1 (89.3)	3.3 (2.3)	94.2 (97.2)	87.2 (88.2)	7.0 (9.0)
児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどにに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連の PDCA サイクルを確立していますか。	97.4 (98.8)	97.3 (97.1)	0.1 (1.7)	98.8 (98.3)	95.9 (96.0)	2.9 (2.3)
令和7年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。	98.2 (98.0)	96.7 (96.5)	1.5 (1.5)	98.3 (99.4)	93.6 (94.0)	4.7 (5.4)
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習について、児童(生徒)が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか。	93.2 (94.2)	91.1 (90.6)	2.1 (3.6)	90.3 (88.7)	85.0 (85.9)	5.3 (2.8)
創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組を行いましたか。	90.5 (89.3)	89.3 (89.5)	1.2 (▲0.2)	96.6 (96.6)	92.7 (95.8)	3.9 (0.8)

(2) ICT の活用状況

- ・ PC・タブレットなどの ICT 機器を授業で「ほぼ毎日」（1日に複数の授業で活用）活用している割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ PC・タブレットを児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面でほぼ毎日使う割合は、小・中学校ともに全国平均より高い。
- ・ ICT 機器を不登校児童生徒に対する学習活動等の支援に活用する割合は、小学校において全国平均より低く、中学校において全国平均より高い。
- ・ ICT 機器を特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援に活用する割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。
- ・ ICT 機器を外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に活用する割合は、小・中学校ともに、全国平均より高い。

注) 1 下段()は令和7年度の数値

質問事項		小学校			中学校		
		岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を授業でどの程度活用しましたか。	①ほぼ毎日 (1日に複数の授業で活用)	69.5 (70.0)	57.2 (61.0)	12.3 (9.0)	85.1 (78.4)	59.8 (63.7)	25.3 (14.7)
	②ほぼ毎日 (1日に1回くらいの授業)	21.9 (17.0)	25.6 (23.8)	(△3.7) (△6.8)	7.5 (12.5)	22.5 (19.1)	△15.0 (△6.6)
生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面	ほぼ毎日	24.9 (26.2)	19.5 (19.5)	5.4 (6.7)	27.6 (22.7)	16.5 (16.6)	11.1 (6.1)

注) 1 「児童生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器について、以下のような用途でどの程度活用しているか。」という質問に対して「ほぼ毎日・週3回以上・週1回以上」と回答した学校の割合(%)

2 下段()は令和7年度の数値

質問事項	小学校			中学校		
	岐阜県	全国	全国との差	岐阜県	全国	全国との差
不登校児童(生徒)に対する学習活動等の支援	23.4 (30.3)	33.0 (36.9)	▲9.6 (▲6.6)	56.3 (61.4)	51.9 (53.5)	4.4 (7.9)
特別な支援を要する児童(生徒)に対する学習活動等の支援	62.4 (63.1)	60.1 (65.4)	2.3 (▲2.3)	67.2 (62.0)	60.9 (62.3)	6.3 (▲0.3)
外国人生徒に対する学習活動等の支援	27.3 (27.2)	25.2 (25.0)	2.1 (2.2)	35.0 (31.2)	27.5 (24.9)	7.5 (6.3)

Ⅲ 本調査結果を踏まえた岐阜県教育委員会の取組み

- 本県の課題を踏まえた「指導改善資料」を作成し、各市町村教育委員会を通じて、小中学校、義務教育学校、特別支援学校に配付する。また、地区ごとに「学力向上・指導改善推進会議」を開催して、調査実施学年以外の学年や調査実施教科以外の教科等を含めた幅広い観点から取り組むべき課題や、その改善に向けた取組について検討することができるようにする。
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るために、指導主事会や学校訪問等を通して、指導改善の方法や ICT の効果的な利活用等について指導助言を行う。
- 令和 5 年度から取り組んでいた「『指導と評価の一体化』による学習評価の充実・推進事業」における各地区リーディング・スクールの実践研究の学びを生かし、令和 8 年度から新たに「子ども主体の授業改善事業」と「ICT の効果的な利活用事業」を通して、さらなる指導改善に取り組んでいる。

教育長コメント

県教育委員会としては、小学校段階から、自己肯定感を育み、誰一人取り残すことなく寄り添う教育を大切にしています。今後もこうした方針を堅持しつつ、より子どもたちの実態を適切に捉え、ほめて伸ばす指導を充実させていきます。

また、子どもたちの「夢や目標の実現」を支援するとともに、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という願いを後押しすべく、小学校では、授業で自分の考えをまとめることを重視した指導を、中学校では、社会の中で将来の夢や目標をもつことができるような指導を大切に、市町村教育委員会と連携し、子どもたちの「自立力」「共生力」「創造力」が身に付く施策を充実させていきたいと考えております。

参考資料

教科に関する調査問題（例）と結果

1 よくできていた問題及び課題がみられた問題の例

(1) 国語

① よくできていた問題の例

■令和8年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 国語 3一

■令和8年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 国語 2三

問題の概要		正答率
小学校 国語 3一	○ 話や文章の種類とその特徴について理解することができるかどうかを見る。	岐阜県 76.5% 全 国 76.7% 全国差 -0.2
	林さんは、「文章」を読んで、文章の書き方に特徴があることに気づきました。「文章」の特徴として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。 1 疑問や調べたことを、問いと答えの段落に分けて書いている。 2 筆者の生涯を、生まれたときから時間的な順序で書いている。 3 登場人物同士の関係を、場面の移り変わりと結び付けて書いている。 4 筆者の経験や心の動きを、筆者なりのものの見方や感じ方で書いている。 ※ 本文は著作権の関係により、掲載することができません。 問題用紙には、「吉手」と「嫌い」(作 辻村深月)本文の一部が掲載されています。 車『シチュエーション』………(辻村深月『吉手』と『嫌い』による。) (辻村深月『吉手』と『嫌い』による。) (辻村深月『吉手』と『嫌い』による。)	3 林さんの経験では、自分の心に残った文章について考えたことまでがめぐることにしました。林さんは、「吉手」と「嫌い」という題名の文章を選んで読んでいます。次は、林さんが読んだ「文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。 【文章】 巻 一 第①、②、③、④の内容は、あとの問いで取り上げられます。

○ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。

中学校
国語
2

【話し合いを受けて整理した画面】

〈音楽科の先生に相談すること〉

- ・歌声に強弱をつけたい。
- ・高い音の部分をもっと歌いたい。

〈自分たちで取り組むこと〉

- ・指揮者をよく見て、歌い出しのタイミングをそろえよう。
- ・集まったらすぐに練習を始めよう。
- ・練習後の振り返りのときに、意見や感想を積極的に出そう。

【話し合いの一部】

〈目標を達成するための課題〉

- ・歌声に強弱がつけられていない。
- ・高い音の部分がかうまく歌えない。
- ・歌い出しのタイミングがそろわない。

・練習を始めるまでに時間がかる。

・練習後の振り返りのときに、意見や感想が出されない。

【話し合いの一部】

山下 私たちの学校の目標は、「美しい歌声を響かせよう」です。アンケートで「目標を達成するための課題」として挙げられたものを、タブレット端末で共有したので、画面を見てください。まずはみんながどんなことを課題としてあげているかを整理した上で、どうしていけばよいかを考えませんか。

石川 そうですね。「目標を達成するための課題」を見ると、歌の表現の仕方に間わるものと、練習への取り組み方に間わるものの二つに分けられるのではないのでしょうか。

山下 私もそう思います。例えば、「歌声に強弱がつけられていない」や「高い音の部分がかうまく歌えない」は、歌の表現の仕方になりますよね。

石川 「歌い出しのタイミングがそろわない」もそれに入ります。

大森 そうすると、それ以外の「練習を始めるまでに時間がかかる」「練習後の振り返りのときに、意見や感想が出されない」は、練習への取り組み方に間わるものになりますね。

山下 まずは、「目標を達成するための課題」を二つに分けられましたね。

大森 では、このあとどうしていけばよいかを考えましょう。私は、歌の表現の仕方に間わるものは、音楽科の先生に相談するのがよいと思います。

石川 私もそう思います。ただ、「歌い出しのタイミングがそろわない」については、指揮者をよく見てタイミングをそろえるなど、自分たちで取り組むことができそうです。

山下 そうですね。では、まずは自分たちで取り組んでみましょう。

大森 賛成です。

山下 いろいろな意見が出たので、今まで話し合ったことを受けて、「音楽科の先生に相談すること」と「自分たちで取り組むこと」に整理してみました。どうでしょうか。

石川 先生や学級のみんなに伝える言い方になってよいと思います。

大森 この内容をみんなにどのように伝えるかが大切ですね。

山下 そうですね。では、この〈自分たちで取り組むこと〉は、学級のみんなにどのように伝えるとよいでしょうか。

大森 この画面をオンライン上の学級のページに載せるのがよいと思います。タブレット端末を見て、取り組みたいことをいつでもまとめて確認することができると、練習するときに気を付けることができます。

石川 私は、練習ごとに「一ずつ取り組むこと」を呼びかけていくのがよいと思います。一つ一つしっかりと意識しながら練習できると思います。

山下 一つの意見が出ましたね。では、話し合いをまとめていきましょう。

大森 「美しい歌声を響かせよう」という目標に向けて練習するために、学級のみんなにどのように伝えたらよいでしょうか。

【話し合いの一部】の一線部③「今まで話し合ったことを受けて、＜音楽家の先生に相談すること＞と＜自分たちで取り組むこと＞に整理してみました。」とありますが、山下さんが【話し合いを受けて整理した画面】を説明したのとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- これから取り組むべきことを明確にするために、三人で話し合った課題を重要なものとそうでないものに分類している。
- 三人の考えを学級に分かりやすく伝えられるようにするために、アンケートの結果と話し合った内容を並べている。
- これまでの話し合いの経緯が分かるようにするために、話し合いの中で出た意見を時間の流れに沿って並べている。
- このあと取り組んでいきたいことを具体的に示すために、挙げられた課題を解決の仕方に応じて分類している。

岐阜県
72.7%
全国
70.4%
全国差
+2.3



② 課題がみられた問題の例

■令和8年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 国語 2四

■令和8年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 国語 4四

問題の概要

正答率

○ 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

5 終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

（参考文献けん）

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しやする色のため、熱くなりやすい。一方、黒は熱や光をさげろしろうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

四 花山さんは、「集めた情報」をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを、どのように書き表しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1 はじめに

夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがみじかい方がすずしいのではないかな。なぜ、長そでの服を着ているのか、いふに思ひ、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることになった。

2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか

「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだち出して日掛けをするじ、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直して日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①強い日差しが照りつけるえん天では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

「熱中しょうかん境保健マニュアル2022」には、暑さをさげる衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」「より元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服をはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。《図》のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそうだ。

では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

2 花山さんの手紙では、「夏を快適に過ごすためのくふうについて調べて考えたことを書く。」「友達と報告し合うことになりました。」「花山さんは、「暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう」について調べて、文章を書いています。次の「花山さんの文章の一部」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

花山さんは、【集めた情報】をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、に入る内容を、どのように描きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

<条件>

- 【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
- ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎっこ（「」）でくくること。
- ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。
- 百四十字以内にまとめて書くこと。

岐阜県
31.3%
全国
33.5%

全国差
-2.2

小学校
国語
2四

○ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる。



条件1 〈例文2〉の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書くこと。
条件2 条件1で書いたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書くこと。

〔注〕 物類・人に関するものに限る。
四 林さんは、本文を読んで理解したことをより深めるために、〈具体的な場面〉を思い浮かべながら、二種類の例文を書きました。あなたは、〈例文1〉と〈例文2〉を比べて、擬態語にはどのような効果があると考えますか。あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。
なお、読み返して文章にしたいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

〈例文1〉擬態語を使っていない例文

「いいえ、たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒は言った。

〈例文2〉擬態語を使った例文

「いいえ、たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒はきっぱりと言った。

〔中田智子〕「会話の表情を表わす擬音語・擬態語」による。

※ 本文は著作権の関係により、掲載することができません。
問題用紙には、「会話の表情を表わす擬音語・擬態語」(作 中田智子)本文の一部が掲載されています。

4 林さんは、擬音語・擬態語に興味を持ち、次の文章を読んでいます。これを読んで、あとの問いに答えなさい。①から③は、段落の番号を表します。

岐阜県 41.0%
全 国 38.9%
全国差 +2.1

林さんは、本文を読んで理解したことをより深めるために、〈具体的な場面〉を思い浮かべながら、二種類の例文を書きました。あなたは、〈例文1〉と〈例文2〉を比べて、擬態語にはどのような効果があると考えますか。あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。
なお、読み返して文章にしたいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。
条件1 〈例文2〉の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書くこと。
条件2 条件1で書いたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書くこと。

(2) 算数・数学

① よくできていた問題の例

■令和8年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 算数 3(1)

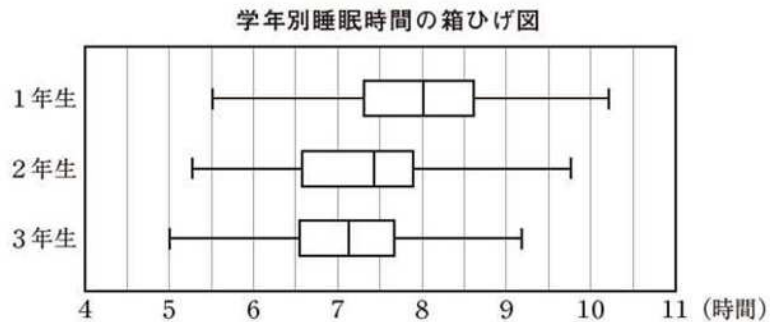
■令和8年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 数学 9(2)

問題の概要	正答率
○ 小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる。 たいがさんとひまりさんは、1 から 9 までの数字が書かれた 9 枚のカードを使って遊びます。 1 2 3 4 5 6 7 8 9 カードを裏返しにして、1 人 3 枚ずつカードを引いて数をつくります。 たいがさんたちは、下の【ルール】で遊ぶことにしました。 【ルール】 ① 引いたカード 3 枚すべてを、□ に当てはめて小数をつくります。 □.□□ ② 大きい数をつくった方が、勝ちです。 例えば、3 7 8 を引いた場合、3.78 や 7.38、8.73 などの数をつくるができます。 (1) たいがさんは、1 5 9 を引きました。 たいが 一番大きい数は何になるのかな。 5 9 1 → □.□□ 1、5、9 を□に当てはめたときにつくることができる、一番大きい数を書きましょう。	岐阜県 94.3% 全 国 94.5% 全国差 -0.2

○ 箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる。

9 保健委員の桃音さんと悠真さんは、自分たちの学校の生徒の睡眠時間の特徴について、保健だよりで報告することにしました。そこで、全校生徒 300 人を対象に、ある日の起床時刻と就寝時刻を調査し、睡眠時間を調べました。

(2) 二人は、学年によって睡眠時間の分布の傾向にどのような違いがあるか気になりました。そこで、次のような箱ひげ図に表して、学年別の睡眠時間の分布の傾向を調べることにしました。



学年別睡眠時間の箱ひげ図から、次のことがわかります。

1年生は、I がおよそ8時間であることがわかる。
 2年生と3年生は、II が7.5時間以上8時間未満の値であることがわかる。
 よって、睡眠時間が8時間未満の生徒の割合は、1年生より2年生と3年生の方が大きい。

上の I、II のそれぞれに当てはまる言葉を、下のアからオまでの中から1つずつ選びなさい。

- | | | |
|----------|----------|-------|
| ア 最小値 | イ 最大値 | ウ 中央値 |
| エ 第1四分位数 | オ 第3四分位数 | |

岐阜県
77.8%
全 国
75.8%
全国差
+2.0

② 課題がみられた問題の例

■令和8年度 全国学力・学習状況調査問題 小学校 算数 4(3)

■令和8年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 数学 7(2)

問題の概要

正答率

○ 二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる。

(3) さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるたに参加する1年生の人数を下の表にまとめました。

前半と後半の遊びごとの人数 (人)

		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

さくらさんたちは、あやとりに参加する1年生にひもをわたします。

わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は ㊦ 人です。

前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数は ㊧ 人です。

上の㊦、㊧に入る数を、それぞれ書きましょう。

小学校
算数
4(3)

岐阜県 14.4%
全 国 17.9%

全国差
-3.5

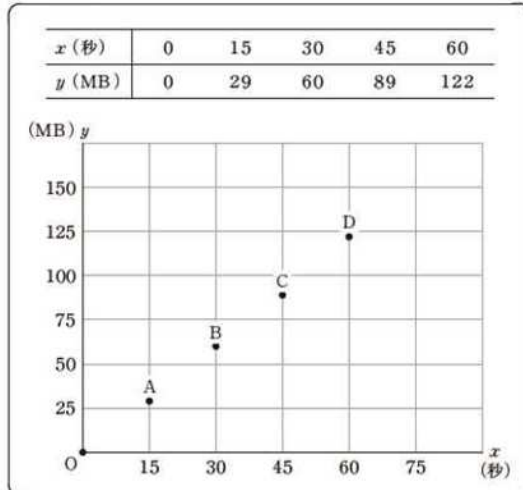
- 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

7 光希さんのクラスでは、クラス紹介の動画を撮影することになりました。撮影する動画のデータ量は1000 MBまでにすることになっています。

そこで、動画の時間によってデータ量がどのように変わるかを調べるために、同じ撮り方で時間だけを変えて動画を撮影し、動画の時間とそのデータ量を記録しました。そして、動画の時間が x 秒のときのデータ量を y MBとして、次のように表にまとめ、下のグラフに表しました。

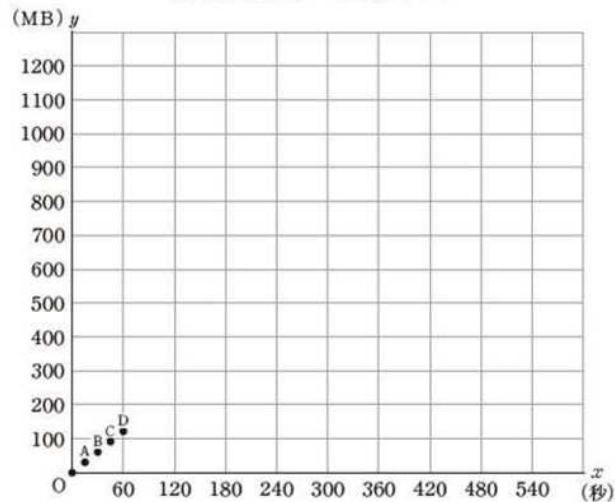


調べた結果



- (2) 光希さんは、1000 MBのデータ量で撮影できる動画の時間を調べるために、前ページの調べた結果を下のグラフに表しました。

動画の時間とデータ量のグラフ



動画の時間とデータ量のグラフにおいて、原点Oから点Dまでの点が一直線上にあるとし、動画の時間を長くしても、動画の時間とデータ量の値の組を座標とする点が同じ直線上にあると考えます。

このとき、データ量が1000 MBになるときの動画の時間はおおよそ何秒になるかを求める方法を、 x 座標や y 座標、 x の値や y の値など、 x や y を使って説明しなさい。ただし、実際に時間がおおよそ何秒になるかを求める必要はありません。

岐阜県
35.5%
全 国
33.9%
全国差
+1.6

(3) 英語3技能(「聞くこと・読むこと・書くこと」) CBT 形式

① よくできていた問題の例

■ 令和8年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 英語 3

問題の概要		正答率
中学校 英語 3	○ 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる ※自分が「30番」という情報だけで問題を聞く。 3 <問題文> あなたは、留学先で学校見学に参加し、体育館で先生の説明を聞くところです。【あなたのカード】の番号は「30」です。先生の説明を聞いたあと、【質問】が流れます。そのあと【4つの選択肢】が示されます。質問の答えとして最も適切なものを、<解答欄>の1から4までの中から1つ選びなさい。必要に応じてメモを取ってもかまいません。 再生ボタンを押してください 【学校見学での説明】  【あなたのカード】  【質問】 ※聞いたあとに示されます。 【4つの選択肢】 ※聞いたあとに示されます。 <解答欄> ☐ 1☐ 2☐ 3☐ 4 岐阜県 77.4% 全 国 76.0% 全国差 +1.4 <tr><td> ※リスニングが終わった後に、問題が表示される。 3 <問題文> あなたは、留学先で学校見学に参加し、体育館で先生の説明を聞くところです。【あなたのカード】の番号は「30」です。先生の説明を聞いたあと、【質問】が流れます。そのあと【4つの選択肢】が示されます。質問の答えとして最も適切なものを、<解答欄>の1から4までの中から1つ選びなさい。必要に応じてメモを取ってもかまいません。 【学校見学での説明】  【あなたのカード】  【質問】 Where will you go on the school tour? 【4つの選択肢】 1. classroom A 2. gym 3. library 4. music room <解答欄> ☐ 1☐ 2☐ 3☐ 4 ※動画＋音声 </td></tr>	※リスニングが終わった後に、問題が表示される。 3 <問題文> あなたは、留学先で学校見学に参加し、体育館で先生の説明を聞くところです。【あなたのカード】の番号は「30」です。先生の説明を聞いたあと、【質問】が流れます。そのあと【4つの選択肢】が示されます。質問の答えとして最も適切なものを、<解答欄>の1から4までの中から1つ選びなさい。必要に応じてメモを取ってもかまいません。 【学校見学での説明】  【あなたのカード】  【質問】 Where will you go on the school tour? 【4つの選択肢】 1. classroom A 2. gym 3. library 4. music room <解答欄> ☐ 1☐ 2☐ 3☐ 4 ※動画＋音声
	※リスニングが終わった後に、問題が表示される。 3 <問題文> あなたは、留学先で学校見学に参加し、体育館で先生の説明を聞くところです。【あなたのカード】の番号は「30」です。先生の説明を聞いたあと、【質問】が流れます。そのあと【4つの選択肢】が示されます。質問の答えとして最も適切なものを、<解答欄>の1から4までの中から1つ選びなさい。必要に応じてメモを取ってもかまいません。 【学校見学での説明】  【あなたのカード】  【質問】 Where will you go on the school tour? 【4つの選択肢】 1. classroom A 2. gym 3. library 4. music room <解答欄> ☐ 1☐ 2☐ 3☐ 4 ※動画＋音声	

■令和8年度 全国学力・学習状況調査問題 中学校 英語 10 (1)、(2)

- 19 -